

2020年11月10日  
一般社団法人Spring

=====\*

## 5899件の性暴力被害から見えた実態 ～ 被害当事者が望む未来とは ～

院内集会終了後、記者会見を行います

=====\*

日本初の性暴力被害当事者団体として、性暴力にあっても生きる希望を持てる社会のルールを作るため活動している一般社団法人 Spring（代表理事：山本潤、所在地：東京都千代田区）は、「同意なく受けた性暴力」の実態詳細を明らかにする『性被害の実態調査アンケート』の結果報告会（院内集会）を、衆議院議員会館にて11月20日（金）に開催いたします。

刑法性犯罪について引きつづき議論していくうえで、重要なエビデンスとなる内容も数多く含まれております。当日は研究者などとの質疑応答の時間も長く設け、できるだけ多くの情報をお伝えいたします。

この機会に是非、ご取材いただきたくご案内いたします。

### ■被害実態に即した更なる改正に向けて

2017年6月、刑法性犯罪が110年ぶりに改正が実施されましたが、国連などの勧告や世界的潮流、また、被害実態からみれば十分なものとはいえず、法務省も3年をめぐりに見直しを検討するという「附則」をつけました。その3年後が今年、2020年です。現在法務省では「性犯罪に関わる刑事法検討会」（以下、検討会）が行われ、さまざまな考えを持つ委員が議論をしています。

### ■アンケート調査の背景と目的

Springは被害実態に即した更なる改正を求めています。しかし、性暴力の詳細について明らかにされていないことが非常に多くあります。

そこで、Springでは性暴力の実態を明らかにしようと、2020年8月16日～9月5日まで、性被害にあわれた方を対象にwebアンケート\*を実施しました。その結果、私たちの予想を遥かに超える回答が寄せられ、その被害件数は5,899件にのぼりました。

当事者が主体となって性暴力の詳細にわたる調査をしたのは日本初となります。

\*被害回答呼びかけ文はこちらから：<http://spring-voice.org/news/200809survey/>

\*アンケート質問内容ははこちらから：<http://spring-voice.org/news/20201120pr/>

今回のアンケート調査は、寄せられた被害を報告書としてまとめ、検討会に提出することで検討委員の皆さまに「性被害の実態に即した再改正」に向けて議論していただくことを目的としています。今回、数多く寄せられた回答を、外部研究者にご協力をいただき、情報分析を行った結果、これまで明らかにされてこなかった性暴力被害の実態が詳細にわたって見えてきました。

### ■新たに見えてきた性暴力の実態とは

明らかになった被害実態の例として、「被害を受けたあと、どれくらい経って被害と認識できたか」また、「警察に届けられなかった被害の件数」や、「加害者との地位関係性」そして、「性被害の影響で記憶を失っていた年数」など性暴力被害の詳細に迫った画期的な量的、質的調査の結果をこの度の院内集会で発表いたします。

### < 開催概要 >

【日時】2020年11月20日(金) 16:30-18:00 \*16:10開場

【場所】衆議院第一議員会館 大会議室  
(東京都千代田区永田町2丁目2-1)

【対象】議員・関係省庁職員 / 関心のある市民・団体 / 報道関係者

【参加費】無料

【定員】150名

【詳細情報・チラシ】Spring公式HPからご覧ください  
<http://spring-voice.org/news/20201120innaishukai/>

### 【配布資料】

都合により、当日配布する資料の報告書の一部で、全文は12月中旬にSpring公式HPに掲載予定です。

【プログラム内容】\*予定は変更になる場合がございます

### 1部：Spring発表 アンケート調査結果報告 (55分)

1) 挨拶 山本 潤 一般社団法人Spring代表理事・SANE 性暴力被害者支援看護師

2) 調査のはじまり OneVoiceチームメンバー (匿名)

- 3) データから明らかになった被害実態 量的分析の結果について  
金田智之 一般社団法人Spring 調査研究チーム 研究員
- 4) 性被害が相談しやすい社会になるために 質的分析の結果について  
外部研究者 岩田千亜紀 (オンライン) 東洋大学社会学部社会福祉学科 助教

## 2部

- 5) 質疑応答 (30分)

議員、省庁関係者、一般の参加者及び、報道関係者の皆さまからご質問をお受けします。  
\*調査報告に関するご質問はこの時間のみとなりますのでご注意ください。

### 【登壇者】

Spring 山本潤

外部研究者 齋藤梓 (オンライン) 目白大学心理学部心理カウンセリング学科 専任講師

外部研究者 岩田千亜紀 (オンライン) 東洋大学社会学部社会福祉学科 助教

- 6) Spring提言 山本潤 (10分)

— 院内集会終了 —

### 記者会見 18:10~18:30

1部 5) Springの提言 について会見を行います。(予定は変更になる場合がございます)

山本潤 (代表理事) 岩田美佐 (副代表) 佐藤由紀子 (副代表)

### 【主催】一般社団法人Spring

\*当日は、Youtubeライブ配信を行います。申し込みの有無に関わらずご覧いただけます。▶URL : <https://youtu.be/5-MicwdRN4M>

### 【新型コロナウイルス感染対策】

- ・会場定員の半数で開催いたします。
- ・体調不良の方のご参加はお控え下さい。
- ・当日朝に検温をしていただき、37.5℃以上の方のご来場はお控えください。  
入館時はマスク着用のうえ、受付にてアルコール消毒のご協力をお願いします。

本院内集会は、JANICグローバル共生ファンドの助成により開催いたします

< 取材申込み >

\*メール件名に【院内集会取材依頼】のご記入をお願いします\*

以下の項目をご記入のうえ、下記メールアドレスに送信をお願いいたします。

- ・氏名、ご所属先、ご来場人数
- ・メールアドレス等のご連絡先
- ・通行証をお持ちでない方はその旨もご記入ください。当日入り口にてスタッフが通行証をお渡しいたします。

**【報道関係者の皆様への御願い】**

・活字媒体の公開にあたりましては、Springスタッフに内容確認依頼(事実確認)をお願いいたします。

・団体スタッフの中には撮影・取材不可の者もおりますので、ご了承ください。  
性暴力というデリケートなテーマを取り扱っているため、ご理解ご協力をお願いいたします。

< 取材申込 および 本件にするお問い合わせ先 >  
一般社団法人 Spring Email : info@spring-voice.org

---

**【一般社団法人Spring ～性被害当事者が生きやすい社会へ～】** <http://spring-voice.org>

日本初の性暴力被害当事者団体として2020年の刑法見直しを見据え、性暴力に関する政策提言に取り組み、性被害に遭っても生きる希望を持てる社会のルールを作るため活動しています。性被害を受けた人がフリーズ（凍りつき）から動き始め、人生の冬を過ごしている全ての人の心に春が来るよう願いを込めて、2017年7月7日に立ち上げました。

- 私達のゴール
1. 性被害を受けた人が被害者と認められる
  2. 性被害を受けた人、周囲の人が適切な支援を受けられる
  3. 性暴力の真実を伝え、共に生きられる社会をつくる

上記が実現されるよう、性犯罪の実態に即した刑法性犯罪改正を求めています。